

標準的な評価方式の概要

	事業評価	実績評価	総合評価
概要	事前の時点で評価を行い、途中や事後の時点での検証を行うことにより、事業等の採否、選択等に資する情報を提供することを主眼とした方式。	行政の幅広い分野において、あらかじめ達成すべき目標を設定し、それに対する実績を測定し評価することにより、政策の達成状況についての情報を提供することを主眼とした方式。	○時々の課題に対応するために特定のテーマを設定し、様々な角度から掘り下げて総合的に評価を行い、政策の効果を明らかにしたり、問題点の解決に資する多様な情報を提供したりすることを主眼とした方式。
評価対象	事務事業が中心(おおむね施策程度の活動のまとまりも対象)。	おおむね施策程度の活動のまとまりを対象。各府省の主要な課題を幅広くカバー。	おおむね政策や施策ととらえられる行政活動のまとまりを対象。
評価時点	事前の時点で評価を実施し、途中や事後の時点で検証を行う。	あらかじめ達成すべき目標を設定し、目標に対する実績を定期的・継続的に測定。 目標期間終了時に当該期間全体における実績を評価。	政策・施策が実施された後で、実際の効果等に関する情報・データ等の収集が可能となった時点において実施。 場合によっては、実施前の時点で実施。
評価の内容等	事前の時点で、あらかじめ期待される効果やそれらに要する費用などを分析・検討。 ○途中・事後の時点で、事前の時点での評価内容等を検証。 ○公共事業、研究開発事業及びODA事業については評価の取組の一層の改善・充実。規制については実施可能なものから順次評価。補助事業や新規に開始しようとする事業等についても評価の実施等を検討。	主要な施策等に関し、成果(アウトカム)に着目した「基本目標」を設定。その達成状況を測定するため、「達成目標」を設定。 おおむね1年ごとに達成目標に対する実績を測定。 基本目標の目標期間(5年程度)が終了した時点で、目標期間全体を総括し、基本目標の達成状況を評価。	時々の課題に対応して、選択的・重点的に実施。 政策・施策の効果を様々な角度から具体的に明らかにする。政策・施策とその効果との因果関係、外部要因の影響、波及効果等を掘り下げて分析。 政策・施策の問題点とその原因を分析し、その解決に資する情報を提供。

事業評価の概要

概 要	事前の時点で評価を行い、途中や事後の時点での検証を行うことにより、事業等の採否、選択等に資する情報を提供することを主眼とした方式。
評価の対象	事務事業が中心。 おおむね施策ととらえられるような行政活動の一定のまとまりも対象。
評価の時点	事前の時点で評価を実施し、途中や事後の時点で検証。
評価の内容	<p>○事前の時点</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事業等の目的が妥当か、行政関与の在り方から見て行政が担う必要があるかを検討。 ● 事業等の実施により予測される効果や必要な費用を可能な限り推計・比較し、費用に見合った効果が得られるかを検討。 ● 事業等の目的の実現のために必要な結果が得られるか、より効率的で質の高い代替案がないかを検討。 <p>等</p> <p>○途中・事後の時点</p> <p>途中や事後の時点で事前の時点での評価内容を検証し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 途中の時点で事業等の進捗状況等を把握。 ● 事後の時点で事業等の目的等の実現状況を把握。
各行政分野等における評価の在り方	<p>○公共事業・研究開発事業</p> <p>評価の透明性、質の向上など評価の取組の一層の改善・充実を図ることが必要。</p> <p>○ODA(政府開発援助)事業</p> <p>事前から事後の時点までの一貫した評価を確立することが必要。</p> <p>○規制</p> <p>実施可能なものから順次評価に取り組むとともに、評価の仕組みの在り方について早急に検討し、具体化することも必要。</p> <p>○その他の行政分野等</p> <p>補助事業や新規に開始しようとする事業等についても、評価の実施等を検討し、その仕組みを順次構築することが重要。</p>

実 績 評 価 の 概 要

概 要	行政の幅広い分野において、あらかじめ達成すべき目標を設定し、それに対する実績を測定し評価することにより、政策の達成状況についての情報を提供することを主眼とした方式。				
評価の対象	おおむね施策程度の活動のまとまりを対象。各府省の主要な課題を幅広くカバー。				
評価の時点	あらかじめ達成すべき目標を設定し、目標に対する実績を定期的・継続的に測定。目標期間終了時に当該期間全体における実績を評価。				
評価の内容	<p>○目標の設定</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center; border-bottom: 1px solid black;"> <基本目標> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 基本目標 1 例: X₂ 年までに□□□について△△△を改善 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 基本目標 2 例: ◇◇数について X₁ 年時点での水準を X₂ 年までに 15%削減 (指標=◇◇数) </div> </td> <td style="width: 50%; text-align: center; border-bottom: 1px solid black;"> <達成目標> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 達成目標 1-1 例: 「○○率について、X₁ 年時点での 10%を X₂ 年までに 15%に向上させる」 (指標=○○率) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 達成目標 1-2 例: 「○○件数について X₁ 年時点での 250 件を X₂ 年までに 200 件以下にする」 (指標=○○件数) </div> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"> ※ 5年程度の中期的な目標期間が基本 </td> </tr> </table> <p style="margin-top: 10px;">○達成目標の実績測定及び基本目標の実績評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 達成目標の実績測定: おおむね 1 年ごとに達成目標に対する実績を測定。実績測定の結果に基づき、必要に応じ、関係する施策等や目標の見直し。 ● 基本目標の実績評価: 基本目標の目標期間が終了した時点で、目標期間全体を総括し、基本目標の達成状況を評価。必要に応じて施策等の見直し。 </div>	<基本目標> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 基本目標 1 例: X₂ 年までに□□□について△△△を改善 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 基本目標 2 例: ◇◇数について X₁ 年時点での水準を X₂ 年までに 15%削減 (指標=◇◇数) </div>	<達成目標> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 達成目標 1-1 例: 「○○率について、X₁ 年時点での 10%を X₂ 年までに 15%に向上させる」 (指標=○○率) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 達成目標 1-2 例: 「○○件数について X₁ 年時点での 250 件を X₂ 年までに 200 件以下にする」 (指標=○○件数) </div>	※ 5年程度の中期的な目標期間が基本	
<基本目標> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 基本目標 1 例: X₂ 年までに□□□について△△△を改善 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 基本目標 2 例: ◇◇数について X₁ 年時点での水準を X₂ 年までに 15%削減 (指標=◇◇数) </div>	<達成目標> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 達成目標 1-1 例: 「○○率について、X₁ 年時点での 10%を X₂ 年までに 15%に向上させる」 (指標=○○率) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 達成目標 1-2 例: 「○○件数について X₁ 年時点での 250 件を X₂ 年までに 200 件以下にする」 (指標=○○件数) </div>				
※ 5年程度の中期的な目標期間が基本					
実施の手順	実施手順の例: ①基本目標及び達成目標等の設定 → ②達成目標に対する実績の定期的・継続的な測定 → ③次期の基本目標及び達成目標等の設定準備 → ④基本目標に対する実績の評価 → ⑤次期の基本目標及び達成目標等の設定				
導入スケジュール	試行を含めた段階的な導入を図り、数年を経て本格的な実施に移行。				

総 合 評 価 の 概 要

概 要	<p>時々の課題に対応するために特定のテーマを設定し、様々な角度から掘り下げて総合的に評価を行い、政策の効果を明らかにしたり、問題点の解決に資する多様な情報を提供したりすることを主眼とした方式。</p>
評 価 の 対 象	<p>おおむね政策や施策ととらえられる行政活動のまとまりを対象。</p>
評 価 の 時 点	<p>政策・施策が実施された後で、実際の効果等に関する情報・データ等の収集が可能となった時点で実施することが適当。 場合によっては政策・施策の実施前の時点でも実施。</p>
評 価 テ ー マ ・ 評 価 の 内 容	<p>時々の課題に対応して選択的・重点的に実施。</p> <p>○評価テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 社会経済情勢の変化により改善・見直しが必要とされるもの。 ● 国民からの評価に対するニーズが高く緊急に採り上げて実施することが要請されるもの。 ● 従来の政策・施策を見直して、新たな政策展開を図ろうとするもの。 <p>等</p> <p>○評価の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 政策や施策の効果を様々な角度から具体的に明らかにする。政策・施策とその効果との因果関係、外部要因の影響、波及効果等を掘り下げて分析。 ● 政策・施策の問題点やその原因を分析し、その解決のための情報を提供。 <p>等</p>
実 施 の 流 れ	<p>実施の流れの例： ①評価テーマの設定 → ②評価の実施計画の策定、事前準備 → ③調査・分析の実施 → ④評価結果のとりまとめ、公表</p>